

(令和2年2月試験研究業務月報)

試験研究課題：主要農作物推奨品種決定調査（水稻）

研 究

業務用米の有望品種選定に向けた食味試験を実施

近年、米の需要が減少する中、高齢化や、核家族化など、ライフスタイルの変化により中食・外食化が進み、業務用米の需要が増加しています。

これに対応するため、京都府においても多収で一定の食味を有した有望な業務用米品種の検討を進めています。

2月5日、農林センター職員27名を対象に令和元年に試験栽培を行った。4つの品種・系統において「外観」、「香り」、「味」、「ねばり」、「硬さ」及び「総合」の各項目について食味官能試験を実施しました。

得られたデータは、将来の推奨品種化を見据え京都府に適した品種選抜に活用します。



業務用多収米の食味官能試験の様子

農 林 セ ン タ ー